



クロミエ総合高校（仏）、交流！

5月30日（月）、そして6月8日（水）、昨年度に引き続き、交流校であるフランス・クロミエ総合高校とのオンライン交流を行いました！ 7時間の時差があり、三木高の放課後と向こうの1限とでやっと成り立つというオンライン交流なのですが、釜城祭前の忙しい時期であるにもかかわらず、国際総合科、普通科を問わずたくさんの人が参加してくれ、2日間とも充実した交流を行うことができました！

すでに「恒例」となった感のある英語落語や、探究学習のプレゼンテーション、そして歌やダンスなど、多彩なメニューで楽しい時間を過ごすことができました♪

フランスはこの後、夏時間（サマー・タイム）。そして受験期に入るので、オンライン交流はしばしお休みになります。次回、また、たくさんの皆さんが参加してくれることを楽しみにしています！



【夏だ！ 学校の外へ飛び出そう！】企画

相変わらず海外との直接の交流事業が困難な中、国際・探究推進部からはclassiや配布プリントなどを通じ、すでに幾つもの代替企画を案内しています！

昨秋、フランス派遣の代わりに実施し、非常に好評を博した山梨（河口湖周辺）での国内留学。今年は8月に、昨年よりも日程を一日長くし、4泊5日で行います。外国人講師らと、24時間英語漬けの日々を過ごし、最終日には富士山麓での自然体験も予定されています。

また、これも昨年に引き続き、三木・小野両市で、外国人児童の「夏休み宿題ボランティア」も開催されます。外国にルーツを持ち、親御さんも日本語の読み書きが不自由であったり、家での宿題に困難を抱えている児童・生徒が少なからずいます。それぞれ日程は何日間かありますので、ぜひ、1日でも構いませんから、興味のある人は参加をしてみてください。

そして、今年度新しく実施する神戸松蔭女子学院大学と本校主催の「夏休み大学英語研修」。大学でのプログラムだけでなく、神戸の街での「異文化体験」を含め、興味深いメニューをたくさん用意しています。

その他、三木市（国際交流協会）からも、姉妹都市であるオーストラリア（フェデレーション市）、アメリカ（バイセリア市）との交流イベントなどの案内が配られていることとしますので、こちらも奮って参加してくださいね！。

普通科、総合的な探究の時間！

今年度から、これまで国際総合科を中心に組みこんできた探究型の学びを普通科でも取り入れようと、少しずつではありますが工夫を始めています。

今学期、3年生では志望動機の執筆や面接練習、1年生では文理選択をテーマに扱ってきましたが、前者においては興味のある身近な社会事象に照らし合わせて考えてみたり、後者では、学問領域は単純に文理の別に分けることが可能なのかという疑問を持ちながら、グループでの作業なども取り入れながら活動を行っています。

3年生の現代文で扱っている河野哲也「コスモポリタニズムの可能性」に、こんな文章があります。「経験とは、異なったものや新しいものに出会って驚くことである。そして、驚きは思考をもたらす。そして、驚いたことで、人は対話することを求める。すなわち経験は思考と対話を誘発する。」

各学年にとっての探究活動が、そのような学びの場になればと願っています。



「合格体験記」

同志社女子大学 生活科学部 人間生活学科 K・H

私が第1志望を同志社女子大に決めたのは3年生の2学期頃です。今まで共学の学校に通っていたので、そもそも女子大を意識して調べていませんでした。ですが親に勧められ調べてみると共学にはなかなか無い学部があることを知り、女子大という選択肢もいいなと思ったのがきっかけです。

私は学習塾に通っていなかったため、放課後教室で勉強したり、夏休みは学校の図書室を借りたり、学校が開いていない日は図書館の自習室を活用したりしていました。学校では同じように勉強している人たちがいるので自分も頑張ろうと思えるし、家だと集中できないので強制的に勉強する空間をつくる必要でした。

夏休みの過ごし方がカギだと思っていたので、規則正しい生活をし8~10時間勉強することを目標にしていました。身が入らないまま勉強していると睡魔が襲ってくるのでその時は5~10分ほど寝ていました。1日でも勉強をやめてしまうとそこで終わりそうな気がして怖かったので、気が乗らなくても机に向かうようにしていました。計画通りにいかないことばかりでしたが、あまり思いつめずにコツコツ小さなことでいいからまずは始めてみてください。

勉強への意欲を高めるため私はstudy plusというアプリにお世話になりました。全国の学生がどんな教材を使っているのか、どれだけ勉強しているのか、それに勉強記録を入力するので、自分のこれまでの頑張りが目に見えて分かってモチベーションアップにつながりました。

加えて何か一つ得意教科を作ることもおすすめです。私は兄と姉がいますが、2人とも世界史が得意で私も負けていられないと思い、2年生になって世界史の勉強が始まったとき、コロナで学校がありませんでしたが、授業が再開したときついていけるように自主学習に力を入れました。そのときからしっかり勉強すればいい点が取れるということを知り、今までいかに自分が勉強から逃げてきたかを痛感しました。

世界史から始まりこの考えは他の教科にも影響していき、特に古文は自分の中で一番伸びた教科だと思います。古文が苦手だと思っている人は、ゴロゴという単語帳とステップアップノートという文法書がおすすめです。本当にちんぷんかんぷんでしたが、この2冊を何度も繰り返すことで問題を解くのが楽しくなりました。反対に英語はなかなか成績が伸びませんでした。インプットの作業ばかりしていて、アウトプットにかかる時間を十分に取れなかったからです。この経験から皆さんには基礎固めを早めにしてほしいです。

私は初めから私大志望だったので文系教科に力を入れ、最終的に入学当初の実力テストに比べて驚くほど成績が上がりました。

受験は辛いことばかりではなく、苦手なことから逃げずに取り組んだという点でこれからの自信にもつながります。やらされているのではなく、自分の成長のために勉強しているのだと意識を変えて、前向きに勉強と付き合っていくと少し楽になるのではないかと思います。応援しています！



6月4日(金)は、阪神・淡路大震災から1万日目でした(27年と5ヶ月弱)。

平成後半生まれのみなさんには、震災は実感のない「歴史上の話」ですが、30代以上の多くの方は、震災を「きびしく・つらい思い出」として記憶しています。

阪神・淡路を大きく上回る被害が予想される南海トラフ巨大地震が、30年以内に確実にやってきます(年々その確率は高まっています)。対南海トラフ巨大地震の防災は、みなさん自身の、家族の、地域の、兵庫県の、日本の、そして関係する世界の国々の課題です。三木市は内陸部に位置して津波被害の心配がなく、通常時はスポーツ・レクリエーション施設、災害時には隣接する広域防災センターと一体となって全県の災害対応・復旧などにあたる「三木総合防災公園」が所在する、県の防災拠点です。

災害時には、高齢者や子供、障がい者、女性、外国人など、弱い立場の人々が多くのダメージを被ります。防災、減災、災害からの復旧・復興は、SDGsの様々な目標に対応します。探究活動において、ぜひ目を向けてもらいたいと思います。[国際・探究推進部長 田尻 淳]